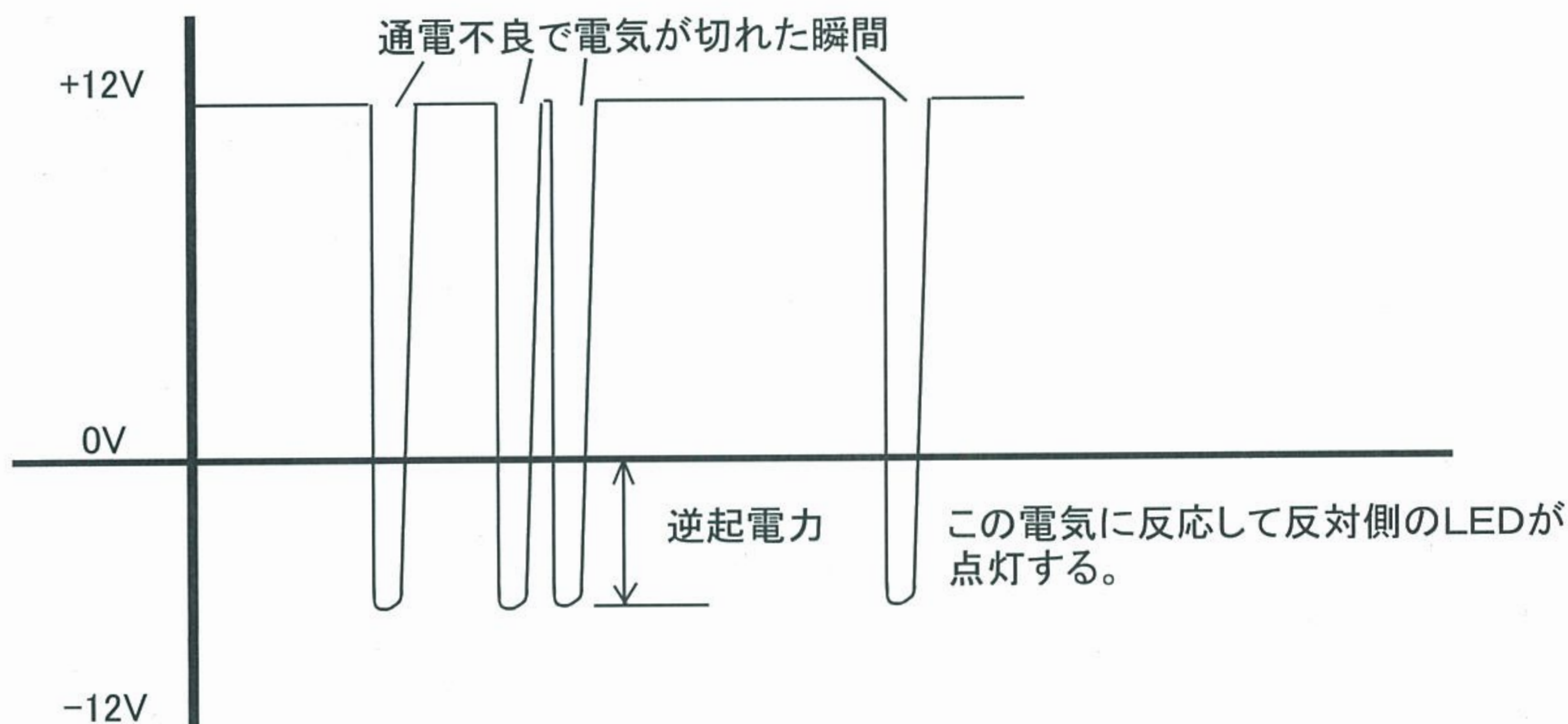


## ■後部ライトの点滅について

最近の製品の傾向としてヘッドテールライトの光源をLED化することが主流になっています。これは模型の寿命に対し、LEDの寿命がはるかに長く、通常では“球切れ”が起きないこと、消費電流が少ないこと、発熱が少ないため安全であること、などの理由によります。

鉄道模型の集電方式は回転する車輪を通してレールから電気を受けるため、電気的には非常に不安定で、非常に短いサイクルの中で通電・断線を繰り返しています。モーター車の集電が一瞬切れた時でもモーター自体は惰性で回っていますので、モーターが発電機となりマイナス方向の電気(逆起電力)を発生させます。この逆起電力に反応して進行方向の逆側のLEDが点滅する現象が起こります。

一方電球はLEDに比べ鈍感であるため、この逆起電力で点灯することはない、これは敏感なLEDならではの現象として、本製品に限らずLEDを使った車両全般におこる現象です。



この現象を回避するには発生する逆起電力をコンデンサで吸収してしまう方法がありますが、コンデンサは弊社製品を含めパルス制御の制御機器との相性が非常に悪いので、基板回路では採用する事が出来ず、LEDならではの電気特性とさせていただきます。

車輪とレールをきれいに清掃し、通電性が安定するとこの現象は大幅に軽減しますので、お手持ちのレール、車両の車輪の点検、清掃を行ってください。

今後ともTOMIX製品に変わらぬご愛顧をいただきますよう、心からお願い申し上げます。